

授業科目 臨床実習II (支援機器)

【担当教員名】 坂井 一浩、月城 慶一 他		対象学年 3	対象学科 義肢
		開講時期 後期	必修・選択 必修
		単位数 5	時間数 225
【概要・一般目標：G10】 福祉用具や靴など、高齢者や障害者のQOL向上を目的とした機器・用具の供給について知るとともに、それらが実際に在宅等でどのように活用されているのかを理解する。また、サービス提供者として求められる態度、知識、技術について、臨床的な現場を通して認識する。			
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 対象者や実習指導者を含めた周囲に対し、専門職を目指す学生として良好な態度と礼節をもって接することができる。 2. 対象者のADLおよびQOL評価を行うことができる。 3. ADLおよびQOL評価の結果に基づき、これらの改善が可能な福祉用具の提案を行うことができる。 4. 福祉用具等の使用により対象者のADLおよびQOLがどのように変化したか、客観的に評価することができる。			
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション		学内
2	福祉用具・機器関連施設における臨床的な実習（5週間）		学外(実習指導者)
3	実習セミナー（報告会）		学内
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>
教科書 (必ず購入する書籍)	なし		<発行年・価格 他>
参考書	なし		
その他の資料			
【評価方法】 臨床実習指導者による評価、臨床実習報告書の内容などにより総合評価する。	【履修上の留意点】 身だしなみや言葉遣い、守秘義務に関わる事項など、各留意点の詳細についてはオリエンテーション時に確認を行う。		